



サラダつうしん

No.8

2010.11月発行

おかげさまで 当店は来年20周年

— ぐあいさつ —

今年もあと残り少なくなってきましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

「サラダつうしん」も年内最後の発刊です。

おかげ様で来年当店も20周年を迎えることができます。

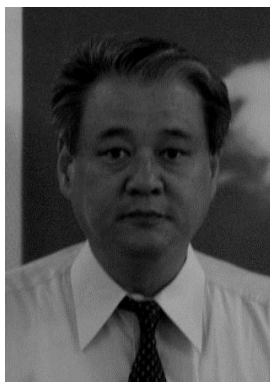
これはひとえに地域のお客様にご愛顧いただいたおかげと社員一同大変感謝しております。

これを機にわたしたちはもう一度原点に戻って、お客様の心と心を結び付ける「贈りもの」の仕事に携わる者としてのギフト店のあり方について考え直してみようと思ひます。

かつて創業70周年記念事業としてお客様より「贈りものにまつわるエピソード」を募集した企画でグランプリを獲った「白いチューリップ」という作品がありますが、その作品の内容が実に感動的で、今の私たちが忘れかけている優しい気持ちを思い起こさせてくれるような作品です。100年に1度という不況の中でついつい売上げや利益を優先に考えてしまいがちですが、これから私たちのお店や仕事は「どうあるべきか」そしてお客様のために「何をすべきか」の答えがこの作品の中にはあると感じましたので、ぜひ皆様にも読んでいただきたく右記に掲載させていただきます。

そして当店のスタッフ一同もこの物語の中の店員さんのようなお客様に優しさや心配りが出来る「愛」が溢れる接客サービスを心掛けていこうと全員で誓い合いました。

今後とも当店を引続きご愛顧いただきますようお願い申し上げます。



社長
いっかんだ たかよし
一貫田剛由

贈りものにまつわる 感動のエピソードをご紹介します

白いチューリップ (北海道 中川美由紀さん)

昨年の夏の話。町中の小さな花屋さんでのこと。

私はお墓に供えるための仏花を選んでいました。店員は20才くらいの女の子ひとりだけ。すると、可愛いお客さんが2名入って来ました。

小さな女の子とその手を引いた男の子。たぶん兄弟だったのでしょう。

男の子はポケットから小さくたたんだ千円札を取り出し、「これでお花を作ってください」と言いました。店員さんが「誰かにプレゼント？」と聞くと「お母さんに」とちょっと恥ずかしそうに答えました。店員さんはまたたずねました。「どんなお花が好きかな？」

二人は少しの間考えていたようですが、今度は女の子が答えました。

「チューリップ」

店員さんはうんうんとうなずくと、赤とピンクのチューリップを何本か手に取りました。すると、男の子がその手をつかんで「だめだよ」と止めるのです。何だろうと思って見ていると、男の子はこう言ったのです。

「死んじゃったら白い花なんだ」

私も店員さんもしばらく黙ってしまいました。

2人はどう見ても小学1年生が幼稚園といった感じ。赤いチューリップを握りしめていた店員さんはまたうんうんとうなずくと、今度は白いチューリップを取り出しました。それも、店にあった大きな花瓶に入っている20本近いチューリップを全部取り出したのです。

テーブルの上で丁寧にラップをし、大きな真っ白なリボンをかけてあげ2人に渡しました。100円ずつのおつりと一緒に。

男の子はビックリしたような、うれしいような顔で店員さんを見上げます。

店員さんは2人に何も聞けなかつたし、何も言わなかつた。

でもあの大きな花束に優しい気持ちがぎゅっと詰まっているようでした。

不思議そうな顔で、でもしっかりと「ありがとう」と言った男の子。

お店を出ていく女の子の小さな肩と、体からはみ出るくらいの花束に思わず涙ぐみました。そして何より、あんな自然に、温かい贈りものをしてあげられる店員さんに感動しました。

「白いチューリップ」はシャディ創業70周年記念事業として行った「贈り物にまつわるエピソード」を募るといふ企画でグランプリを獲得した作品です

12月4日(土)は サラダ館感謝デー!

★お楽しみ抽選会開催! スタッフ一同ご来店をお待ちしております★

無我夢中の20年間でした

長男が1才の誕生日を迎えたと同時に夫婦で始めた店も来年20周年を迎えます。無我夢中で走り続けてこられたのも家族、社員、地域の皆様のおかげだと心より感謝しております。一貫田美架これから先もずっと皆様に愛される店づくりを目指して取り組んでいきたいと思ひます。



奥さん
いっかんだ みか

スタッフ紹介



店頭スタッフ
鈴木一枝



店頭スタッフ
笹本直子



営業スタッフ
瀬戸敏子



営業スタッフ
島居嘉子



包装スタッフ
大島



包装スタッフ
砂田秀子

ぜひご来店の時にはスタッフの名前を呼んで気軽に声をかけ下さい

お便り交換広場

このコーナーでは「ご意見カード」を返信いただきましたお客様のご意見をご紹介させていただきました。

お買上げの際にレジで「ご意見カード」をお渡ししております。当店への「感想」「意見」「要望」「贈り物での体験談」などを記入いただき返送してください。ささやかではございますが、当店より500円の商品券をプレゼントしております。

商品のセールポイントや個々の要望の対応など細かく説明していただき、送り先の方々にあれこれ工夫してみようかとおもしろさを感じました。千差万別な思いがあり、送り物も可る大変さにはちょっと意欲のわく思いです。ありがとうございます。

(生穂・美濃 進様)

今回の贈り物に対して少しでもお役に立てて大変うれしく思っております。これからもお客様の品選びのストレスを少しでもやわらげて楽しくお買物が出来るよう社員一同努力していきますので、今後ともよろしくお願ひします。

シャテイさんの看板は、大谷の信号のよい目印です。信号の生穂よりにはシャテイさんが有るのは私達地域住民には自然の景色です。信号で止まってディスプレイを見てしまいます。

(生穂・ペンネーム：ペンギン様)

サラダ館がオープンして来年で20年になります。地元のお客様や住民の皆様にお頼ひして愛される店舗で続けるためにもこれからも社員一同努力いたしますので、今後ともよろしくお願ひします。

カラダ館は、カタログでいろいろ商品選べが、注文時にも待つ時間短く、試食等もあるので、子ども連れには、とても助かります。

(塩尾・ペンネーム：ゆうくん様)

お子様も含めてご家族で、ご来店していただける店作りに、これからも努めて行くつもりですので、今後ともギフトのことなら当店に、何でもご相談ください！

◆お客様よりのご要望にお答えします◆

生穂・坂貴子様よりのご要望

回答

お菓子の試食大変子供が喜びます。これからインフルエンザなどの色んな感染症が流行するので、トングをつけてはどうでしょうか？

ご家族で楽しくお買物して頂く様子大変うれしく思ひます。また、今回お菓子に関してのご要望、当店も気付かずすみません。早速トングを用意しますので、これからは安心してご試食下さい。

〔編集後記〕振り返ると10年勤めた銀行を脱サラして始めたサラダ館もはや20年が過ぎたのかという感じです。来年はこれまでの感謝の気持ちを込めて、20周年の感謝イベントをいろいろ企画いたしますのでぜひご期待下さい。これからも引き続きよろしくお願ひします。社長 一貫田剛由

サラダ館 津名東店

〒656-2224

兵庫県淡路市大谷949-1

TEL：0799-64-1888 FAX：0799-64-1880